

【発行】公益財団法人 横浜企業経営支援財団
〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL. 045-225-3700 FAX. 045-225-3737 <http://www.idec.or.jp/>

2014.1 No.8 新春号

◆ 横浜型地域貢献企業の認定を経営戦略にいかしませんか

横浜型地域貢献企業認定制度は、CSR（企業の社会的責任）活動だけでなく、CSR活動を持続的に展開するための「経営の仕組み」についても評価しています。具体的には、経営理念や年間計画を作成し、定期的な見直しと分析の結果を次の計画に反映させているか、などが評価の対象になります。実は規模の小さい企業では見過ごされがちなこの「経営の仕組み」をしっかりとつくっておくことによって、経営基盤が強化され、企業の持続的な発展の鍵になります。

保土ヶ谷区で建築業を営む徳建は、社会貢献活動として、区内の企業と共同で区民祭りに参加し、近くの小学校の児童に鳥の巣箱作

りの体験機会を提供するなど、本業をいかして地域とのつながりを深めています。片保社長が5年前に、徳建の2代目の社長に就任した当時、同社には、明文化された経営理念はなく、規模も従業員12名と小さいため、社内規定も十分に整備されていませんでした。そのようななか、横浜型地域貢献企業認定制度を知り、認定に必要な「経営のチェックリスト」をつかって、年間計画の文書化など社内体制を整え、平成22年度に地域貢献企業として認定されました。

認定後も毎年、社内体制の見直しをすすめた結果、会社が「見える化」され、従業員が会社の進むべき方向性を共有できるようにな



▲巣箱作り体験コーナー（保土ヶ谷区民祭り）

りました。さらに、モラルの向上やCSR活動についての理解も深めることができました。

平成25年度前期は41社が新たに認定され、計255社に達し、11月13日に横浜市長公舎で認定証授与式が開催されました。

この制度を経営戦略のひとつとして、ぜひご活用ください。

詳細は、IDECKホームページ <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/> [問] 経営支援課 045-225-3714

◆ 人手に頼る作業をデジタル化によって改善 —「横浜ものづくりコーディネーター」活動報告—

ものづくりコーディネート事業は、中小製造業の新製品開発や新分野進出を応援するため、大手企業の技術者や総合商社のOBなど、技術開発や販路開拓について、豊富な経験とネットワークをもった26名のコーディネーターが、企業の現場を訪問し、直面する課題の解決を支援しています。今回はユニークな事例を紹介します。

義足や義手などの義肢の製作は障害の程度に応じて個人差があり、利用者ごとの特注品です。現状では障害者の身体にじかに触れて採寸できるのは、義肢装具士に限られており、石膏を使った型取りや義肢の製作・修正作業にも手間と時間がかかり、慢性的な人手不足に陥っています。また、障害者の体型も時間とともに変化しま

すが、義肢装具士が採寸したデータはアナログであるため、保管・管理・再利用やデータ変換など柔軟に活用できないことが課題となっています。

木村義肢工作研究所（横浜市栄区）は、こうした課題を解決するため、24年12月3日、横浜市総合リハビリテーションセンターの協力を得てIDECKが開催した産学交流サロン＆マッチング会『次世代介護・福祉製品』の創出を目指してに参加しました。

相談を受けたコーディネーターは、同社と3D-CADの設計や構造解析技術をいかしたソリューションを提供するリベカ横浜支店（横浜市中区）とのマッチングをおこないました。両社が連携することで四肢などの計測対象を非接

触でスキャニングし、3Dデータとして取り込み、デジタルのデータベースとして活用すれば義肢製作の課題解決につながります。

さらにデジタルデータならではの特長をいかせば、新たな応用にもつながります。たとえば右手の3D画像をミラーイメージとして反転するだけで、左手の形状に変換できるなど様々なメリットがあります。両社は現在、採寸から3Dプリンタを使った義肢の製作までの一連の工程を、デジタルデータによって一気通貫で完結できるシステムの共同開発を進めています。

最先端の技術を駆使した義肢の製作が、身体に障害のある方々のQOL（クオリティオブライフ）の向上にもつながることが期待されます。

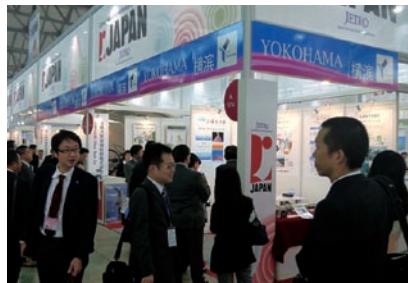
詳細は、IDECKホームページ <http://www.idec.or.jp/renkei/monozukuri/> [問] 技術支援課 045-225-3733

ワンストップ経営相談窓口をご利用ください

創業や企業の経営課題の解決に向けて、IDECK職員・専門家がお手伝いをします！

TEL. (045) 225-3711(財団本部) TEL. (045) 788-9571(金沢拠点)

www.idec.or.jp/keiei/

■ Pick Up**第15回中国国際工業博覧会に市内企業7社が出展**

▲中国国際工業博覧会の横浜ブース

11月5日から9日まで、市内企業7社が上海新国際展覧センターで開催された第15回中国国際工業博覧会に出展しました。

この博覧会は展示面積16万m²とパシフィコ横浜の8倍の会場に25カ国から1,979社が出展する中国最大規模の展示会です。今年は、昨年より14%多い11.7万人が来場しました。

広大な会場は分野ごとに9つの専門展示会に区分され、横浜ブースはそのうちの「環境保護技術と設備展」に設置されたジェット口（日本貿易振興機構）パビリオンの一角に出展しました。

横浜からは排気ガス処理技術や生産管理ソフトウェア、半導体製造装置、エレクトロニクス

部品など独自の技術や製品を紹介しました。5日間を通じて各社の商談企業数は778、このうち成約見込みは19件、約1億2千万円となっています。IDECAは上海市側の提携機関である上海対外科学技術交流センターと協力して企業マッチングの支援を実施しました。

出展企業は、それぞれ手応えを感じており、来年も是非出展したいとの声がありました。

今後もIDECA・横浜市の海外展示会出展支援などの活用をご検討ください。

詳細は、IDECA国際ビジネス支援部 **問** 045-225-3730までお問い合わせください。

技術相談の経済効果は7億円

「継ぎ手の中の流体をスムーズに流すには?」「助成金を受けるためのエネルギー効率の算出方法は?」、IDECAの技術相談窓口に寄せられる課題は、年間400件以上、その分野は、機械加工・設計、電気・電子、計測・制御など多岐にわたりています。

東日本大震災以降、省エネ対策や環境技術への関心が高まっており、省エネ環境診断士の資格を持ったアドバイザーが「工場や生産設備の省エネ化」「省エネに対応した製品開発」などに関する相談にも

応じています。

A社は、電力使用量の多さが課題となっており、工場の省エネ対策について技術相談を利用しました。アドバイザーが同社を訪問し、建物の壁面や天井空間の断熱、省エネ機器への買い換えなどのアドバイスをおこない、あわせて生産設備も調べてみると、設備の待機電力の消費量が想定以上に大きいことがわかりました。生産方法の見直しをおこなった結果、この工場では相談前に比べて20%を超える省エネ効果を得ることができます。

ました。

昨年度の技術相談者のアンケートによると、「売り上げの増加」や「経費削減効果」「クレームの減少」などによって約7億円の経済効果があったとお答えいただいています。

環境技術や省エネに関する相談は年間5回まで無料（他の分野は年間3回まで）、工場だけでなくビルや店舗、各種施設に対する相談にも応じています。ぜひご活用ください。

詳細は、IDECAホームページ <http://www.idec.or.jp/gijutsu/soudan/> **問** 技術支援課 045-225-3733

大好評!大手医療機器メーカーとの合同商談会

昨年夏、IDECAが実施した「横浜ものづくりコーディネート事業に関するアンケート」調査によるところ、3割を超える企業が、新分野進出を検討しており、医療・健康・福祉分野は、環境・エネルギー分野に次ぐ高い関心が寄せられています。

IDECAはこうした状況を踏まえ、中小企業が培ってきた基盤技術を直接、大手医療・福祉機器メーカーに売り込むために合同商談会を開催しています。これまでにテルモ、パイオラックス・メディカルデバイス（PMD）の協力を得て実施

しました。

PMDとの商談会は、11月8日、横浜事業所の従業員食堂を会場に、金属機械加工、板金、樹脂成形など12社の市内企業が参加しました。PMDからは50名を超える開発担当者などが特設の企業ブースをまわり、質問や意見交換をおこないました。商談会を契機に、見積書の提出依頼などが市内企業に寄せられています。参加企業からは「医療機器メーカーの声を聞くことができる貴重な機会」であり、「こうした商談の機会をもっと増やして欲しい」という意



▲パイオラックス・メディカルデバイスでの合同商談会会場

見が多数寄せられています。

合同商談会は今後も開催します。関心のある方はご連絡ください。

詳細は、IDECAホームページ <http://www.idec.or.jp/gijutsu/> **問** 技術支援課 045-225-3733

■ Pick Up**IDECの支援によって森永生科学研究所がタイに現地法人を設立**

現在、食物アレルギーについては、食べないことが最善の自衛策になっており、このため食品の原材料表示が重要になっています。我が国は、他の先進国に先駆けて2002年、食品表示制度を導入し、この分野では先端的な技術を持っています。(株)森永生科学研究所の食物アレルギー物質検査キットは、検出精度の高さが米国FDA(食品医薬品局)からも評価されています。

現在、タイでは、原材料表示規制ではなく食物アレルギーの実態も

知られていませんでした。同社は2008年、現地医療機関の協力をえて、タイで初となる食物アレルギーに関する疫学調査を実施しました。その結果、食物アレルギー患者の存在が確認され、また、市販食品からは表示されていない成分为検出されました。アレルギー患者の97%が原材料を確認して食品を購入しており、食品表示のニーズが高いこともわかりました。

こうした調査とあわせて検査技術の移転候補先として、タイ・カセート大学との共同研究をすす

め、このたび、タイ初となる大学発ベンチャー企業の設立にいたりました。

IDECは、同社のタイ法人設立にあたり、BOI(タイ投資委員会)の認証手続きや駐在員の住居の選定などについて、IDEC専門家とアジアサポートデスクが継続的な支援をおこないました。

タイFDAも食品表示制度には関心を示しており、今後、この合弁企業の活動がタイの国民生活の質の向上に貢献することが期待されます。

詳細は、IDEC国際ビジネス支援部 **問 045-225-3730までお問い合わせください。**

■ 新着情報**テクニカルショウヨコハマ2014に出展します! – 3Dプリンタで特設ブース –**

今年2月5日から7日まで、県下最大級の工業技術・製品の総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2014」がパシフィコ横浜で開催されます。IDECは連携大学や市内企業とともに「よこはま産学・企業間連携コーナー」を出展します。

同コーナーには、昨年IDEC施設に入居したソフトウェア開発企業等が出展するほか、今話題の3Dプリンターや新たなニーズが期待される介護福祉関係の特設ブースを設けます。他にも、当財団の支援メニューの紹介や大学等の最新研究シーズ、企業の新技術・新製品を紹介します。また、期間中は出展大学、企業によるセミナーも開催する予定です。

新技術・新製品発信の場、新規顧客獲得や具体的な商談の場、活発な技術交流や情報収集・交換の場として、ぜひお役立てください。

詳細は、IDECホームページ

<http://www.idec.or.jp/renkei/tsyokohama.php>

問 技術支援課 045-225-3733

頂点をつかみとれ!**–横浜ビジネスグランプリ2014開催–**

恒例の横浜ビジネスグランプリの季節がやってきました。今年から新たに創業する方に加えて既に事業を実施している企業が、新たな分野や新事業に挑戦する、いわゆる「第二創業」についても応募できるようになりました。

新たに起業する場合は、1年内に事業を開始する予定の方、また、第二創業の場合は、応募内容に関わる事業に着手してから3年内の方が対象です。

現在、全国から寄せられた127件のビジネスプランを、事務局が事前審査をおこなっています。最終選考会=グランプリファイナルは、2月22日、ランドマークホールで開催され、審査を勝ち抜いた10人のファイナリストが公開プレゼンテーションをおこないます。

果たして頂点をつかむのは、誰か。皆さまのご来場をお待ちしています。

詳細はIDECホームページ <http://www.idec.or.jp/kigyo/ybg/>

問 経営支援課 045-225-3714

■ Column 「IDEC上海事務所レポート」**横浜企業が上海でレンタルオフィスを開設**

受付対応や電話転送、荷物の受け取りなどのサービスを提供する家具付きのレンタルオフィスが上海にも増えてきました。共同で利用できる会議室やリフレッシュコーナーを設けていくところも多く、独自のサービスを用意し、差別化を図るところもあります。

「上海ドリームレンタルオフィス(<http://shdro.com/>)」は、みなとみらい21地区に本社がある大洋システムテクノロジーの関連会社、大洋正銘ビ

ジネスコンサルティング(上海)有限公司が運営するレンタルオフィスです。

同社は中国に進出する日系製造業をメインに、通関、会計、外貨決済、人事労務などのサービスを提供している総合コンサルティング会社です。

レンタルオフィスでは日本語対応はもちろん、法人設立手続や記帳代行、ビザ申請手続、商談会手配など、初めて中国にオフィスを構える日本人に心強いサービスが用意されています。

上海事務所副所長 川北 彰子

上海には、ほかにも様々なレンタルオフィスがあります。「いざれビジネス拠点を」とお考えなら、出張された折に気軽に見学されてみてはいかがでしょうか。



▲ 上海ドリームレンタルオフィス

◆各種イベントを開催しています

/ 2014.1~2 /

イベント名 / 会場	時期
テーマ別セミナー「オンラインショップセミナー」/ 当財団大会議室 オンラインで物を販売するための基本的な知識や売上を上げる方法を具体的に学びます。	1月16日(木) 18:30~20:30
テーマ別セミナー「若手社員仕事力アップセミナー」/ 崎陽軒本店6階会議室 若手社員が“自律型人財”になるための実践ポイント等について学びます。	1月20日(月)及び2月13日(木) いずれも14:00~17:00
Smart Energy Japan 2014/ 東京ビックサイト 東3ホール 環境関連分野の横浜市内企業4社が出展します。是非お越しください。	1月29日(水)~31日(金) 10:00~17:00
テクニカルショウヨコハマ2014/ パシフィコ横浜 展示ホールC・D 市内企業・IDEC連携大学とともに「よこはま産学・企業間連携コーナー」を出展します。	2月5日(水)~7日(金) 10:00~17:00
2014年度の為替相場見通しとグローバル経済の現況 / 横浜情報文化センター 三井住友銀行との連携により最新情報を届けます。	2月10日(月) 13:30~16:00
横浜金沢産業連絡協議会共催事業「2014 PIAメッセ」/金沢産業振興センター 金沢産業団地の企業が一堂に会し製品や技術を紹介します。	2月13日(木) 開催時間は後日お知らせします

上記イベントはほんの一部です。詳しくはホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

IDEC横浜

検索



メールマガ登録者募集中!

事業などの情報をタイムリーにお知らせするため、各種メールマガジンを配信しています。どなたでも登録できます。IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/> 「財団からの情報」の「財団発行メールマガジン」をご覧ください。

■ Information

IDEC施設入居者募集

- 横浜新技術創造館(鶴見区:研究室・事務室)
- 横浜情報文化センター(中区:事務室)
- 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア(金沢区:研究室・事務室)
- 横浜市金沢産業振興センター(金沢区:事務室)

詳細はIDECホームページ <http://www.idec.or.jp/> 「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご覧ください。
問 施設経営部 045-225-3710

ワンストップ経営相談のご案内 ーお気軽にご利用くださいー

創業や経営、技術、国際ビジネスなど様々な課題について、IDEC職員や専門家が無料(一部のものを除く)でお答えします。

窓口相談(直接、お越しください)

IDEC本部や金沢産業振興センターで企業の皆さまの様々な経営課題についてのご相談にお答えします。

専門家相談(事前申込制・申込方法は以下参照)

弁護士、社会保険労務士など分野別に曜日を決めてお答えします。法律(火曜日)、労務(金曜日)、IT活用(木曜日)

技術相談(事前申込制・申込方法は以下参照)

大手企業OBなどの専門家が中小企業の皆さまを訪問し、技術課題の解決をお手伝いします。

オンライン相談

IDECまで来る時間がとれない方向けに、ネットでの相談も受け付けています。

国際ビジネス相談(先着・事前申込制)

経験豊かな専門家が中国、タイ、ベトナムなどの対象地域や貿易取引など実務についてテーマごとの相談会を毎月開催します。スケジュールとお申し込みは、IDECホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

経営コンサルティング

経営革新や新規事業展開などを目指す中小企業に専門家が継続的コンサルティングを実施します。

申込方法

IDECホームページ <http://www.idec.or.jp/> の「ニーズ別事業紹介」のメニューからご希望の事業を選び、各事業のページから相談事業を選んで申し込んでください。

なお、はじめて利用する方は、新規ユーザー登録が必要です(一部のものを除く)。

編集後記

昨年夏にメールマガジンの読者を対象に実施したアンケート調査では、財団の提供する支援メニューを利用した83%の方から「効果があった」というお答えをいただきました。一方、「支援内容がわかりにくい」、「利用したいメニューがない」など広報の不足が原因とも考えられるご意見もいただきました。

こうした意見を踏まえ、第8号では、IDEC事業の具体的な内容や支援による効果や成果などを伝えることを意識しながら記事をまとめました。中小企業の経営、技術、国際展開に関する課題については、ぜひお気軽にIDECをご利用ください。